

## 秋芳地域審議会意見具申案

## 1 保健・医療サービスの充実（実施計画 P 8、11）

高齢者のリハビリについて、美祢地域ではグリーンヒル美祢の通所リハビリが利用出来ませんが、秋芳、美東地域では送迎がないので利用ができない状況です。美東病院でも通所リハビリの利用と送迎対応をしていただきたい。

## 2 公共交通の充実（実施計画 P 28）

ミニバス運行と生活バス（赤バス）運行は、市民の利便性のため、どちらにも力を入れ充実させていただきたいところです。現状では、ミニバスで青景から嘉万に出ると200円、そこから赤バスに乗り換えることで更に200円かかり、往復で800円の運賃が必要です。ミニバスで美祢まで乗り換え無しで行ける仕組みや乗り換えでも料金が上乗せされない仕組みなど、利用者のニーズに沿った利用しやすい仕組みづくりを考えていただき、改善してほしいと思います。

また、秋吉から八代に行くルートの場合、青景を経由するためか、一旦嘉万で下車しなければなりません。雨が降る日や冬の寒い日など、利用者が困ることがないように、下車しなくても良い対策を考えていただきたいと思います。

## 3 住環境の整備と定住促進（実施計画 P 32）

優良賃貸住宅については、家賃が高いため年金収入だけでは入居が難しいという状況です。そのため、特別養護老人ホームに入られる方が多く、定員を超えた方の行き場が無くなり、お困りの方が多くなっています。高齢者向け優良賃貸住宅事業について、市でももっと力を入れ、家賃の補助を行うなどの仕組みを充実させていただきたい。

## 4 消防・防災の推進（実施計画 P 34）

合併後10年を迎えますが、美祢市防災行政無線の一元化ができていない状況で、県内の他の市町に比べ著しく遅れています。早急に基本計画を策定し、市民の安全・安心な町づくりに取り組むべきです。

## 5 消防・防災の推進（実施計画 P 38）

秋芳桂花小学校が開校するにあたり、地域では新たな防犯灯の設置を要望する声が挙がっています。高齢者やお子さんを守る安心・安全なまちづくり推進のため、防犯灯整備事業について更に力を入れて取り組んでいただきたい。

## 6 観光の振興（実施計画P 4 4）

今ある観光協会をもっと強化、発展させ、観光宣伝だけではなく、稼ぐ仕組み（宿泊の申し込み、タクシーの手配、バスの案内、食の開発等）を作っていくなど、観光推進体制を強化し、観光の振興に力を入れた組織づくりをしていただきたい。

## 7 観光の振興（実施計画P 4 6）

合併10周年を迎えるにあたり、商工会青年部を始め、積極的にイベントを企画する団体が多いと思います。そういった団体が、補助を申請しやすい仕組みづくりをしていただきたい。

## 8 観光産業の育成（実施計画P 5 0）

美祢市は近隣に温泉地（湯田温泉と湯本温泉）があるため、宿泊客の呼び込みに苦戦している。修学旅行生を呼び込むところに力を入れて、農業体験などができる体験型のプランが必要だと考えます。また観光業に携わっていない方にも協力をしていただき、地域全体で体験型観光の充実を図り、観光を通してお金が落ちる仕組みを考えていただきたい。

## 9 農林業の振興（実施計画P 5 5）

新規就業者受け入れについては、空き家対策及び市営住宅の対応で対処すべきであるが、市営住宅については、できるだけ就業場所に近い住宅を貸与してほしい。若者を呼び込むためにも住宅を含む生活環境の整備が喫緊の課題であり、若者の気持ちを汲んだ取り組みをお願いしたい。

また、申し込み手続きが短時間でスムーズに進むように、各主管課で連携をとり、受入体制を整えていただきたい。

## 10 一体的な産業の推進と企業誘致の推進（実施計画P 6 1）

美祢市の人口減少を少しでも食い止めるためには、企業誘致推進事業の取り組みが極めて有効と考える。十文字原の市有地の開発等を念頭に、あらゆるチャンネルを駆使して、空港・新幹線駅に近い高速道路沿線と、極めて交通の便の良い当地域の開発を強力に進めるべきである。財政的な理由があるにせよ、強力なリーダーシップのもと美祢市の町づくりをどう描いていくのか、市民に見えるように努力していただきたい。

## 11 六次産業化や地域ブランド開発の推進（実施計画 P 6 3）

六次産業化推進事業は一定の成果はあるものの、点から面に転換できていないことから、ロットが確保できず産業の一翼を担う役割が果たせていないと考えます。秋芳梨にしても3億円の特産品として市経済に貢献していますが、更に付加価値を高め六次産業化に取り組み、農家の所得に貢献できる支援をお願いすることが、廃園を食い止める手段と考えます。

また、美祢市には養鱒場もあります。その地域資源を活かした取り組みを行い、食べ物、食品加工などの開発をすることで、六次産業化を推進できるのではないのでしょうか。

## 12 学校教育・人材育成の充実（実施計画 P 6 9）

学校給食の食材の地産地消推進事業については、一部の生産者の額に汗した献身的な努力で成り立っており、雨の日も休まず安全・安心、安価な食材を送り届けています。教育委員会の判断では商行為の範疇と理解されていると思いますが、提供する側の農家の方々の苦労は大変です。もう少し体系立った生産者側の組織の確立と、一定期間貢献された方々の労に報いるための表彰等の対策を講じるべきではないのでしょうか。教育委員会側の感謝の気持ちと、生産者側の子供たちに喜んでもらえる食材の提供とで連携を強化し、一層の推進を望みます。

## 13 官民パートナーシップの推進（実施計画 P 9 2）

アウトソーシング推進事業の廃校施設・用地の利用について、地域から要望が出ています。地域の活用、地域の活性化に繋がる対策を、指定管理の見直し等条例改正を踏まえ、早急に講じていただきたい。

## 14 市民参加型のまちづくりの推進（実施計画 P 9 4）

広報活動の一環としての美祢市有線テレビ（MYT）の内容は、まさに行政のスケジュールに沿ったもので、新味がなく毎年度の繰り返しになっているように思います。地域で手作りのイベント、地域で多くの人たちに伝えたい連絡事項等、MYTを市民の目線で放映内容を広く議論すべきと考えます。地域に通信員を配置し、新鮮な情報を収集するとともにアナウンサーも足で稼ぐ取材に徹していただきたい。加入者の意向を反映した放映と重要な連絡事項については、ぜひ取り上げていただき、美祢市の連携強化と活性化に繋げていただきたい。

## 15 ニーズに合う弾力的な機構改革の推進

ニーズに合う弾力的な機構改革とはどのようなものでしょうか。

今年度当初、秋芳、美東の総合支所から農業関係部門を撤退され、旧美祢市に統合されました。しかし、このことは、告知もされることなく、突然の変革で市民は非常に戸惑っております。市民目線の機構改革とはとても思えないのですが、総合支所の立ち位置も含め、今後の方向性をお尋ねします。